

カーボンレポート

東京都低炭素ビル実績表示

この書面は、都民の健康と安全を確保する環境に関する条例に基づく「地球温暖化対策報告書」(都内の中小規模事業所を対象)により東京都に報告したCO₂排出量の実績等を、地球温暖化対策指針に基づいて表示するものです。

No.A1077-0113

報告書提出
事業者名

三井住友信託銀行株式会社

事業所名

神田錦町三丁目ビルディング

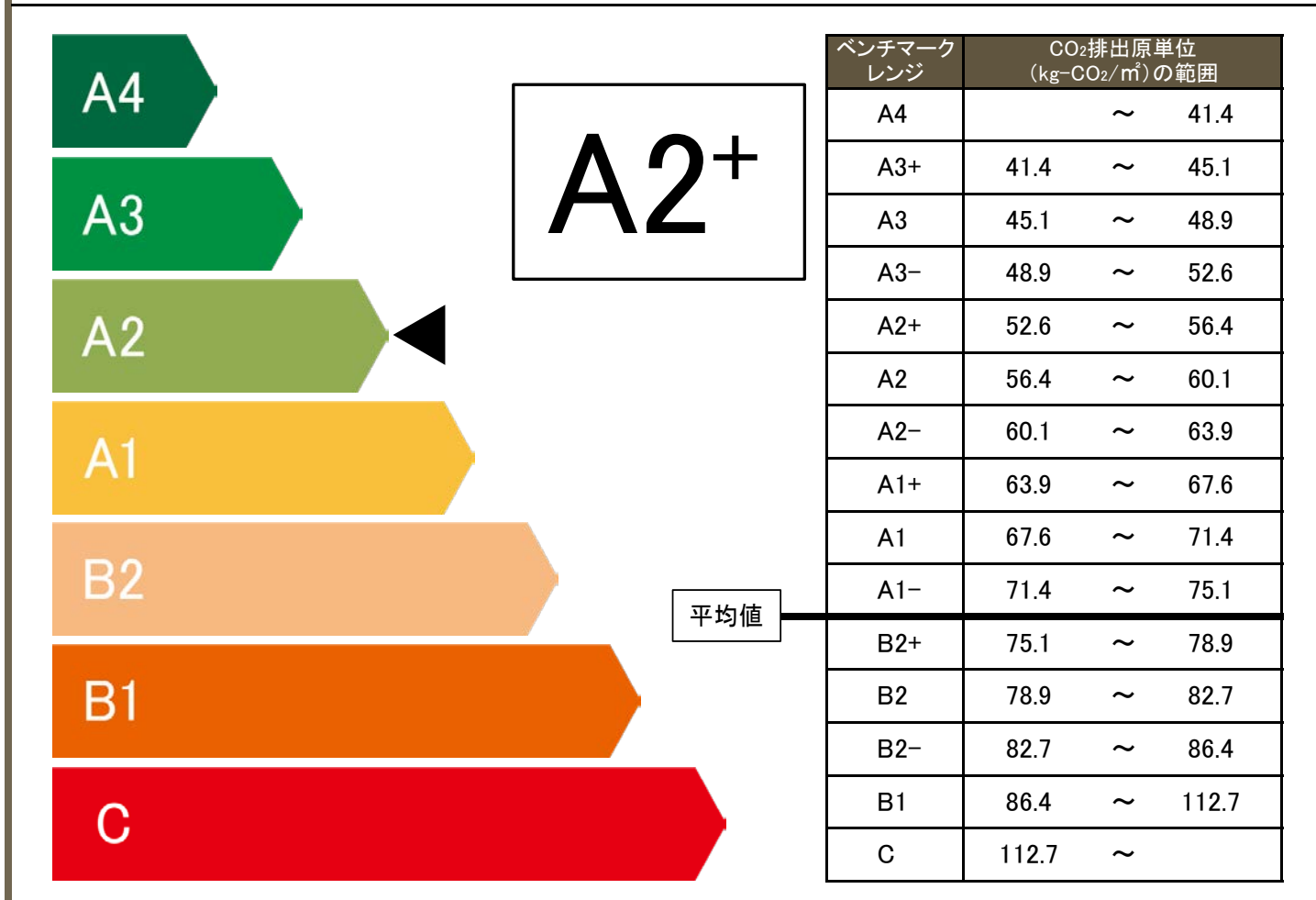
住所

東京都千代田区神田錦町3-11-1



実績年度	年間CO ₂ 排出量	延床面積	CO ₂ 排出原単位 (延床面積当たりの年間CO ₂ 排出量)	主たる用途
2015 年	655 t	12169.78 m ²	53.5 kg-CO ₂ /m ²	事務所

ベンチマーク区分:テナントビル(オフィス系、準大規模)



※ベンチマークは、都内の中小規模事業所のCO₂排出水準(CO₂排出原単位的水準)を15段階で示す指標です。(詳細は、『自己評価指標(ベンチマーク)解説書』(東京都環境局発行)を参照)

※CO₂排出水準は、ビル側の地球温暖化の対策の推進状況だけでなく、ビルの稼働状況や入居者の取組等の影響を含むものです。

※本表面の記載内容は、第三者の検証を要するものではありません。また、初年度から事業者の事業記載範囲についての変更がある場合は、その旨を記載する必要があります。

◆ 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策	その他対策
	対策名	対策名
組織体制の整備	テナントにエネルギー使用量提供	使用量の推計に必要な情報の提供
		テナントへの温暖化対策協力依頼
		使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握	自ら入手可能な情報に基づく把握	過去のデータによる傾向の把握
	エネルギー使用量の前年度比較	
運用対策	空室・不在時等のこまめな消灯	照明スイッチに点灯範囲を表示
		空調機スイッチに空調範囲を表示
	共用部照明のフロアごとの管理	
	フロア共用部の温度の把握・設定	季節に応じた外気導入量の適正化
		外灯等の点灯時間の季節別管理
		外灯等の点灯時間の季節別管理 その他設備の不使用时の停止
設備保守対策	空調フィルターの清掃・点検	換気フィルターの清掃・点検
		その他設備の定期的な保守・点検
設備導入対策	高効率照明ランプの採用(屋内)	照明点灯範囲の細分化
	高効率照明器具の採用(屋内)	高輝度誘導灯の採用

上記は、本事業所が実績年度に実施した対策です。

◆ 補足説明(自由記入)

[建物]: 1973年竣工。延床面積12,169.78㎡。2001年に受変電設備・空調設備・照明設備の大規模な改修工事を実施。
 [電気設備]: キュービクル受変電設備、サミットエナジー株式会社と業務用電力契約、契約電力780kW、変圧器容量3,600kVA、
 [空調設備]: ダクト接続天井埋込個別パッケージ空調機方式。高層棟・低層棟それぞれに1系統外気調和機(全熱交換器付)を設置。
 [照明設備]: 専用部主照明(Hf蛍光灯×2本)

◆ 注記

ビルのCO₂排出原単位(延床面積当りの年間CO₂排出量)は、ビルの断熱性能、設備・機器のエネルギー効率及び運用・保守管理状況を、総合的に示すビルの省エネルギー指標です。東京都が提供するベンチマークは、中小ビルのCO₂排出原単位の平均値を用途別・規模別に示しており、その平均値から個々のビルのCO₂排出原単位がどの程度離れているかをみることで、当該ビルの低炭素レベル(省エネ性能)を評価することができます。

なお、ビルのCO₂排出原単位は、空室率、駐車場や電算室の有無、稼働時間、入居テナントの種類や入居テナントのエネルギーの使い方等によっても影響を受けます。ベンチマークは、こうした様々な要因も包含した平均値を示していますが、省エネの取組以外の要因が著しく大きい等の場合、評価者は、これらの要因がどの程度、CO₂排出原単位に影響を与えているかを考慮する必要があります。詳細は、『自己評価指標(ベンチマーク)解説書』(東京都環境局発行)をご参照ください。